



備えあれば憂いなし

園長 本多 郁代

6月13日、引き渡し訓練のために、子どもたちが玄関に集まった時のこと…。

先生 ;これからみんなのおうちの方がお迎えに来るから、お迎えに来る人の名前を確かめるよ！

子ども ; (訓練中なので、みんな静かに座っている。)

先生 ; ○○ちゃん、お母さんのお名前を教えてください、ママのお名前は何か？

子ども ; ……。 (しばらく考えて) ○○ママ！ (例えば、「本多ママ！」という回答)

先生 ; あら～、ママにもちゃんとお名前があるのよ～。みんな今日ちゃんと覚えてくださいね。

ちなみにパパのお名前は何か？みんな言えますか？

子ども ; ……。 (ママ以上に分からないという表情をする。)

先生 ; あら～、パパにもみんなと同じようにちゃんとお名前がありますよ。みんな覚えようね。

園児全員が、上記のような回答だったわけではありませんが、おうちの人の名前をきちんと答えられた子どもは、ほんの一部でした。災害はいつどこで起きるか分かりません。広い公園で遊んでいる時、大きな商業施設に出かけている時、人混みに紛れて迷子にな



ったら、無事おうちの人のもとに帰ることができるのでしょうか。せめておうちの人の名前を答えられるようにしたいものです。

この日は3つのことを訓練しました。①地震が発生した時の避難方法、②洪水が発生した時の避難方法、③引き渡し方法です。

実は、石川用務員さんが結小学校5年生の時に、この地で新潟地

震を経験していました。当時ジャングルジムで遊んでいたら大きな揺れを感じたそうです。幸い地割れは起きず、放送も使えたのでグラウンドに避難したそうですが、今回、教頭が防災の研修に参加した際に、「校庭の液状化リスクあり」の説明を受けました。そこで、①について昨年度は外に避難しましたが、今年度は遊戯室に避難することにしました。今後も状況に合わせて臨機応変に対応できるように避難経路の確認などを行っていきます。子どもの命を守るために、全教職員で研修を重ねていきたいと考えています。

